

## // 会社の概要 (2022年11月30日現在)

商号 アルテック株式会社  
設立年月日 1976年5月15日  
資本金 5,527,829千円  
従業員数 131名(グループ全体427名)  
所在地 東京都中央区入船二丁目1番1号  
住友入船ビル2階

## // 役員 (2023年2月27日現在)

代表取締役会長 張 能 徳 博  
代表取締役社長 池 谷 壽 繁  
取締役常務執行役員 陶 山 秀 彦  
取締役執行役員 井 上 賢 志  
取締役執行役員 于 勇  
取締役執行役員 山 根 清 秋  
取締役執行役員 片 山 浩 晶  
社外取締役 荒 井 敏 明  
社外取締役 中 尾 光 成  
社外取締役 中 辻 義 則  
社外取締役 中 野 敬 子

常勤監査役 藤 田 清 貴  
社外監査役 石 川 剛  
社外監査役 豊 島 絵  
  
執行役員 野 上 彰  
執行役員 澁 谷 博 規  
執行役員 奥 田 哲 太 郎

## // 株式の状況 (2022年11月30日現在)

発行可能株式総数 40,000,000株  
発行済株式の総数 15,153,000株  
株主数 5,596名  
大株主

株主名	持株数	持株比率
	株	%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,135,300	8.27
竹内猛	915,000	6.67
株式会社三菱UFJ銀行	505,920	3.69
関西チューブ株式会社	485,000	3.53
共同印刷株式会社	432,900	3.15
立花証券株式会社	412,500	3.01
株式会社アルミネ	391,000	2.85
村永八千代	355,476	2.59
由利和久	350,276	2.55
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	289,900	2.11

(注) 1. 当社は、自己株式1,431,002株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。  
2. 持株比率は、自己株式1,431,002株を除いて計算しております。

## // 株主メモ

事業年度  
定時株主総会  
期末配当金受領株主確定日  
中間配当金受領株主確定日  
株主名簿管理人  
(特別口座の口座管理機関)  
同連絡先  
(郵便物送付先)

毎年12月1日から翌年11月30日まで  
2月  
11月30日  
5月31日(中間配当を実施する場合)  
三菱UFJ信託銀行株式会社

〒137-8081  
新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-232-711(通話料無料)  
電子公告により当社のホームページ  
(<https://www.altech.co.jp/>)に掲載します。  
ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告がでない場合は、日本経済新聞に掲載します。

## 公告の方法

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

# 第47期 報告書

2021年12月1日  
~2022年11月30日



この冊子は環境への配慮のため、FSC®森林認証紙と植物油インキを使用しています。

ALTECH  
アルテック株式会社

証券コード：9972

## 株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第47期（2021年12月1日から2022年11月30日まで）のアルテックグループの営業の概況についてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症流行による行動制限が段階的に緩和されるなかで持ち直しの動きが見られたものの、急激な円安進行や物価上昇等により、先行きの不透明感が増す状況で推移しました。また、海外においては多くの国々で経済・社会活動の正常化が進んだことで新型コロナウイルス感染症流行による経済への影響は解消傾向となりましたが、ロシアのウクライナへの侵攻に起因するエネルギー価格の上昇、中国経済の減速等の下振れリスクが顕在化する状況となりました。このような市場環境のもと、当社グループは、2021年1月に策定した中期経営計画の基本方針に基づき、商社事業においては、既存商権で安定した収益を確保したうえでの周辺機器への商権拡大と提案力の向上、無人化や非接触等の社会課題の解決に貢献する商品・サービスの提供に取組んでまいりました。また、プリフォーム事業においては、生産効率改善の推進、樹脂使用量の削減と再生素材の使用による環境負荷の低減に取組んでまいりました。この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高16,319百万円（前期は13,860百万円）、営業利益440百万円（前期は608百万円）、経常利益476百万円（前期は654百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益402百万円（前期は542百万円）となりました。なお、当連結会計年度の期首より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しており、当連結会計年度に係る各数値については当該会計基準等を適用した後の数値となっていることから、前連結会計年度と比較しての増減額および増減率を記載せずに説明しております。

### （商社事業）

商社事業につきましては、ミネラルウォーター製造ライン、ガラス強化炉装置、RFIDタグ製造装置等の検収が完了したほか、コストコントロールに努めたことにより増収増益となりました。その結果、売上高は9,314百万円（前期は8,502百万円）、セグメント利益は465百万円（前期は235百万円）となりました。

### （プリフォーム事業）

プリフォーム事業につきましては、飲料用プリフォームの販売数量の増加等により増収となったものの、原材料価格の上昇等により減益となりました。その結果、売上高は7,061百万円（前期は5,528百万円）、セグメント利益は164百万円（前期は556百万円）となりました。

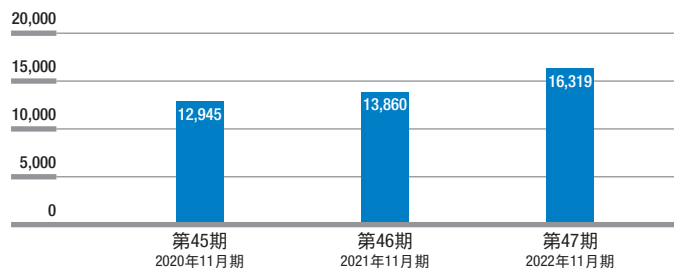
引き続き株主の皆様には一層のご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願ひ申し上げます。



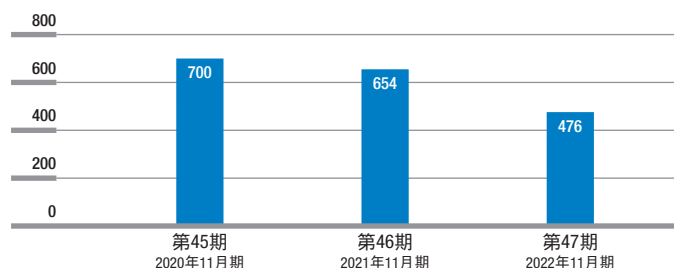
2023年2月  
代表取締役社長  
**池谷 壽繁**

## 連結業績ハイライト

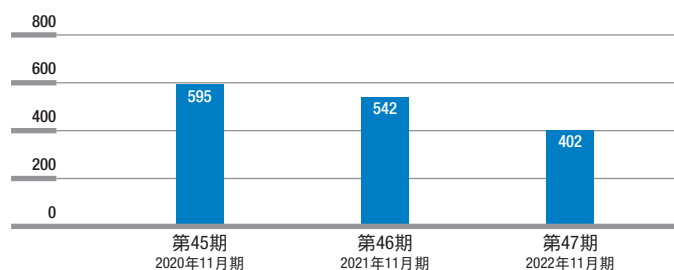
### 売上高（単位：百万円）



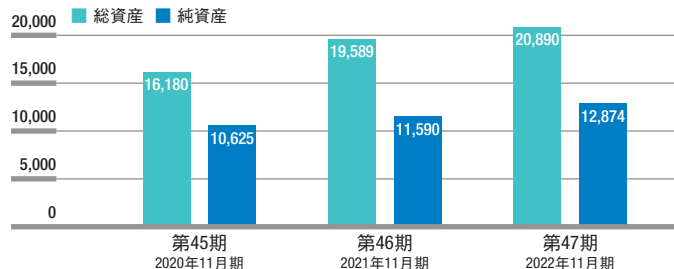
### 経常利益（単位：百万円）



### 親会社株主に帰属する当期純利益（単位：百万円）



### 総資産／純資産（単位：百万円）



## トピックス

### “アルテック・大塚製薬・ジャパンパワーボトラーズの3社で事業提携協定を締結し「PETボトルの循環型社会の実現」を目指す”

当社は、医薬品、食品の製造・販売最大手で主要取引先でもある大塚製薬株式会社および使用済みPETボトル等を回収し飲料容器用途のフレイクを製造する株式会社ジャパンパワーボトラーズと3社間で

2022年11月に事業提携協定を締結いたしました。「ボトルtoボトル」(右図)への取り組みを通じて廃棄物の減量、資源の有効利用を推進し、「PETボトルの循環型社会の実現」を目指してまいります。



### “温室効果ガス排出量削減に対する国際認証「SBT」を取得”

アルテックグループは、環境問題や社会問題の解決に積極的に取り組む企業に最先端の技術を取り入れた商品およびサービスを提供することで持続可能な社会の実現と地球環境の保全に貢献するため、国際的イニシアチブ「SBTi (Science Based Targets initiative)」に参加いたしました。2030年までの温室効果ガス削減目標を2019年比で46%減（1.5°C目標）といたします。



### “小型ノンステップ電気バスの日本参入における市場調査開始”

当社は欧州を中心に電気バスで多くの販売実績をもつトルコの商用車メーカーKARSAN社と協力し、高齢化が進む地域や環境問題の解決に関心を持つ自治体を対象として、小型ノンステップ電気バス「e-JEST」の市場調査を開始しました。小型ノンステップ電気バスの普及は、特定地域に交通弱者を作らないことやCO<sub>2</sub>排出量の削減といった社会的課題の解決に寄与するものと考えております。

また、市場調査の開始にあたり、当社は環境問題に積極的に取り組むジェイアールバス関東株式会社とパートナーシップを組み、「電気バスが走る優しい地域づくり」の実現に向けて社会に貢献してまいります。

